



中馬がつかないだ運送の道

飯島町高遠原に米屋の坂と呼ばれる坂道がある。古い石積みが街道をくつきりと描き出し、脇を流れる高遠井が石垣に水音を弾ませている。東側の石垣の上には馬頭観音。上屋が掛けられた石塔からは、農耕や運送で働いた馬を大事にした人たちの思いが伝わってくる。

②

伊那街道

辰野町〜根羽村

伊那谷遺産 第1部

伊那街道では中馬と呼ばれる馬を使った運送が発達していた。宿場問屋の宿馬で次の宿場まで荷物を送る仕組みで、宿と宿の間には、中馬のための馬宿が設けられた。飯島宿(飯島町)と片桐宿(松川町)の間の高遠原もその一つで、街道の両側に6軒の馬宿が軒を並べていた。



米屋の坂の馬頭観音は文化14年(1817)の建立で、風化も進んでいる。刻まれた文字も薄らいではきたが、「馬を大切にしたい先

祖からずっと守ってきたものだからね」とは米屋の当主、片桐雅夫さん(72)。今も正月にはしめ縄を飾り、お供えをしているという。

毎週火曜日掲載



QRコードから天上事務所HPへ

(文・倉田高志、絵・片桐美登)